

働く男のライフスタイル情報紙

Biz Life Style [ビズスタ東京] 特別版

2022 04

『Biz Life Style』は東京、神奈川、関西、仙台、福岡、広島にて49万部発行
下記URLまでアクセスを。

www.biz-s.jp

広告掲載に関するお問い合わせ・申し込みは
TEL.03-6854-7001 FAX.03-6854-7005
企画・制作／株式会社ディリースポーツ案内広告社
〒110-0015 東京都台東区東上野4-8-1 TIXTOWER UENO 14F
©2022 DAILY ADVERTISING AGENCY CO.,LTD



いま、トッププロたちが「メイド・イン・秩父」に注目する理由。

十人のプレーヤーに対して「ルフに打ち込む理由を訊ねたら、どんな答が返ってくるだろうか。「そりゃ上達したいからさ」「仲間と共に趣味だからかな」「理想的ショットを打てた時の感動に勝るもの無し!」「グリーンの開放感」「上達に合わせてのギア選びがまた楽しくてね」…と、さまざまな言葉が飛び交うだろう。まさに十人十色。これが百人いたらと想像するのもまたゴルフの愉しみのひとつだつたりする。

好きな理由の多彩さは奥深さである証もあるがでは、質問をもうひとつ。あなたの今後の目標は? 慎重く、答の種類はさほど多くはないだろう。と言つより、少し意訳すれば、ほぼ全員が意見を同じくするはずだ。それは、「目標スコアでプレイすること」。

入門者は入門者なりに、上級者はストイックに、プロは人生を賭けてスコアアップを目指すゴルフ。パター や アプローチも含めて課題は人それぞれでも、最高のショットに向けてクラブ選びに悩むのは、古今東西、万国共通の光景。そんな時に参考にするのが、憧れのトッププロの姿だ。

マスター イズ 優勝で感動を巻き起こした松山英樹プロの大活躍で注目を浴びたのが、彼のクラブだ。埼玉県秩父市に本拠を置く『グラファイトデザイン』は、日本が誇るカーボンシャフトの専門メーカー。実は、国内プロツアードでは多数のトッププロたちが愛用する定番シャフトで、今月は新ブランドを発表するなど、さらに勢いに乗る。

創業30余年、今も職人技術にこだわり続けるカーボンシャフトの雄。そこで今回は、GD社の代表と開発現場に話を聞いた。

トッププロからの信頼も厚いゴルフシャフトメーカーが、新ブランドの立ち上げを発表! 詳しくは次ページから!

My Favorite Life Style



全工程に「人の感覚」が関わる モノづくり。トッププロたちが認める「日本のカーボンシャフト」の技術力。



新ブランドの立ち上げに 二十代の若者を大抜擢!

グラファイトデザインが今月発売した「ラウネ」は攻めの「ルマー」のNEIGHBORII狙う姿勢をアナグラムで表現した同社の新ブランド。山田社長の説明通り、同社の若手スタッフが主導する形で開発が進められた意欲的な製品でこれまで認めてきた技術力を背景に新鮮な発想が生まれています。山口アライの経験はあるもののゼロからの開発はもちろん初めて。プロジェクトの立ち上げにあたっては、開発チームの支柱を担つた西澤修一氏は、「まだ二十代という若さ。山口アライの経験はあるもののゼロからの開発はもちろん初めて。プロジェクトの立ち上げにあたっては、開発チームの支柱を担つた西澤修一氏は、何とまだ二十代という若さ。山口アライの経験はあるもののゼロからの開発はもちろん初めて。プロジェクトの立ち上げにあたっては、開発チームの支柱を担つた西澤修一氏は、何とまだ二十代」といふ。まずはシャフトのアイアンの「コントロール性の良さが挙げられます。すぐ弾かず、フェースに乗る時間が長いのでボールを「フットホールド」した

「憧れの弾道」を実現する新ブランド「RAUNE」。

「憧れの弾道」を実現する新ブランド「RAUNE」。

弊社には日本ミシティアマチュアゴルフ選手権で優勝経験を持つトップアマのスタッフが在籍しています。ツアー担当として日々トーナメント会場を渡り歩いているので、もちろん品質に対することは非常に厳しく、歯

磨き抜くシャフトづくり

弊社においては、専門家として追跡する際に相応しい分野だと思っています。ゴルフボールを飛ばすうえで、シャフトはある意味で、自分自身が動いています。「エクト」はあっても変形しないヘッド部分に対し、シャフトはヘッドをスイングする際に自分自身が動いてしまう。「エクト」はあっても好みで含まれれば、本来は人間の特性があるべき製品です。専門家として追跡する際に相応しい分野だと思っています。

なぜシャフト専業なのか

弊社は、1990年に私の父が設立した会社です。本人は、前職もゴルフ事業部を持つメーカーで、やはりシャフト製造を担当していました。どうです。もしも「プロ志望だったのです。評価まで自分でなしていたようですね。

この効率・逆効の時代に、今も職人気質を貫く同社。山田拓郎代表によると、今後の展望などをうかがった。

スチールからカーボンに至るシャフトの「バリエーション」の先導役の角として、現在は女性やアマ向けのコレクションも豊富に展開するグラファイト

トデザイン。社内は約9割が地元秋田にゆかりを持つ社員で占められ、全員が正規雇用とい

うかがった。

この効率・逆効の時代に、今も職人気質を貫く同社。山田拓郎代表によると、今後の展望などをうかがった。

も職人気質を貫く同社。山田拓郎代表によると、今後の展望などをうかがった。

も職人気質を貫く同

My Favorite Life Style

株式会社グラファイトデザイン
企画部長 高橋 雅也 氏

16歳でゴルフを始め、2008年と2014年に日本ミッドアマチュアゴルフ選手権で優勝経験を持つトップアマ。現在はグラファイトデザイン社のツアーレップとしてトーナメント会場を渡り歩く一方、スイングの癖からその場で最適なモデルを特定できる凄腕フィッターという横顔も。技術と経験に裏打ちされたフィーリングでプロからのフィードバックを的確に製品開発に落とし込む、文字通りのGD社のキーマン。

「めくれ球」のあの快感を 誰もが容易に味わえるシャフトを

中面の山田代表のコメントでは、開発担当の西澤氏ともうひとりキーマンの名前が挙がった。同社の社内はもちろん、トッププロたちからも信頼が厚い高橋雅也氏も、今回の「ラウネ」誕生の立役者のひとり。新発想で切り込む若手に対し、経験に裏打ちされた知識を提供するベテランから見た開発のポイントとは。

多くのプロたちの感覚を
開発現場にフィードバック

指して「己」を磨いてきたひとりだ。日本ゴルフ界広しと言えどもミッドアマ選手権で優勝経験を持つトップアマで、かつツアーレップや開発もこなせる人材など、そういう出会いるものではない。ゆえにビジネスとは別に多数のプロから相談を受けるレベルで、大会の会場では常に同じ目線と言語でチェックを続ける。

多くのプロとの対話では、数値化どころか言語化さえできれないような彼らのフィーリングを聞く場面が多い。それを理解した上で感覚として共有し、シャフトづくりの現場にフィードバックするのも高橋氏の重要な役割だ。ラウネの

NEW!!

ハイブリッド・ウェッジ・アイアン向けシャフト

RAUNE

シャフト本体価格 9,900円(税込)~(日本製)



2022年春～!
オンラインショップも
開設中!



さっそく試打しました！ 本誌・佐原編集長のRAUNE ミニレビュー



初めは柔らかすぎるかなと思いましたが、何度か素振りして構えた時に、「これは打てるかも」という感覚に包まれました。ティクパックからインパクトの瞬間はやや当たりが浅く、「トップしたか」と思うと同時に、球をしっかりと捉えたような不思議な感触。今まで打てなかつた弾道で、飛距離も出て、ランの少ない理想的な球が打てました。1球目からですよ？(笑)

2度、3度と打ちましたが、いずれもナイスショット。今までではダブリを意識し過ぎてトップすることが多かったのですが、恐れずしっかり振り切れるんです。「めくれ球が打てるというのは、こういうことか」と性能を堪能することができました。

スコアアップを目指す上では革新をもたらすギアと、自信を持って言える製品だと思います。試打会が開かれるようなので、早く再会したいですね。



アンケートに回答いただいた方の中から抽選で10名様に スティック&カバーをプレゼント

応募方法

はがきに下記ご記入の上、ご応募ください。
 ①住所、氏名、電話番号、年齢、職業 ②記事を読んでの感想
 ●応募締切：2022年5月31日(火)消印有効
 ●送り先／〒110-0015 東京都台東区東上野4-8-1 TIXTOWER UENO 14階
 ビズスタ編集部・グラファイトデザイン係
 ※当選者の発表は商品の発送をもって代えさせていただきます。
 ※個人情報は応募者の同意なしに第三者に開示することはありません。

ビズスタ特典

